

大学生の就職活動 現状と改善案

東洋大学国際地域学部国際観光学科3年

竹ノ内亜衣

1. 2013年度卒の就職活動の流れ

日本経済団体連合会（経団連）は今年、「採用選考に関する企業の倫理憲章」を改定し、企業説明会といった広報活動や学生からのエントリー受付を12月1日以降と決めた。

12月1日 就職活動解禁

- ・就職情報サイト利用開始
- ・エントリー開始
- ・説明会・セミナー開催
- ・合同説明会

エントリーとは

その企業に興味かおるという意思表示。

エントリーをすると企業からセミナー・会社説明会の参加案内や、応募に関する資料を送ってもらえる

(1) webエントリー

就職情報サイトや企業の採用ホームページから可能。企業側のメリットは、情報整理が効率的に行えること。これによってはがきのエントリーを受け付けない企業が多数。

エントリーをした順に「説明会やセミナーの情報」や「エントリーシートの受け付け方法を発信」する企業かおる

→12月1日就職情報サイト サーバーダウン

(2) ハガキなどのエントリー

- ・就職情報誌などのとじ込みハガキ、または官製ハガキを使用
 - ・市販の就職情報誌や、自宅に届く就職時報誌から情報を得る
- ほとんど利用されず

1月 会社説明会・選考を兼ねたセミナー 開催数増加

2月 多くの企業でエントリーシートの提出期限（書類選考）

3月 筆記（適性）試験・グループディスカッション

4月 面接

5月 内定が出始める

2. 就職活動の問題点日本労働組合総連合会 2012年の新規労働者の意識調査

◆軟職活動は楽しかったか、苦しかったか (単一回答形式)

	楽だった	どちらかと言うと楽しかった	どちらかと言うと苦しかった	とても苦しかった	楽しかった (計)	苦しかった (計)
全体 [n=1000]	16.6	32.7	34.5	26.2	49.3	50.7
新卒:高校生 【n=261】	14.9	34.9	38.3	11.9	49.8	50.2
新卒:大学生 【n=375】	14.7	27.7	40.6	17.6	42.4	57.6
新卒:専修学校 【n=123】	19.5	36.6	27.6	16.3	56.1	43.9
新卒:その他学生 【n=111】	21.6	37.8	22.5	18.0	59.5	40.5
既卒 【n=130】	18.5	34.5	27.7	18.2	53.1	46.9

新卒大学生の苦しかった割合 57.6% : 専修学校生の苦しかった割合 43.9%

(1) 学業・アルバイトとの両立

◆就職活動において、学生生活に支障が出たか

<学業とアルバイト> 全体【n=1000】、新卒:大学生【n=375】

		支障が出た	支障は出なかった
全体	「基礎教養」もしくは「専門的知識・技術」を身に付けること	46.4	53.6
	学費や生活費のためのアルバイト	53.9	46.1
新卒大学生	「専門的知識・技術」を身に付けること	46.1	53.9
	学費や生活費のためのアルバイト	65.3	34.7

○ 学業との両立が難しいと感じる瞬間

- ・説明会が多くなる時期とテスト期間・課題提出期間が重なる
→1月後半はテスト・レポート期間

(特に今年は地震の影響でテスト期間開か遅くなった学校もあり両立が難しい)

*説明会に参加しないと選考に進めない企業、説明会が第1選考を兼ねている企業もある

○ アルバイトとの両立が難しいと感じる瞬間

- ・説明会・選考がいつになるかわからないので、シフトの提出が難しい
- ・合同説明会に参加→興味を引く会社が見つかりエントリー→説明会の日程がバイトの日

●学業に専念できるように就職活動開始を2ヶ月遅らせた効果はあったのか?

- メリット : ・学内のセミナーはほぼ土曜で授業に支障が出ない。
 ・予定は立てることができたので、アルバイトができた
 ・11月の学園祭準備・本番と就職活動が重ならず済んだ
 (その期間にセミナーに参加している人もいたが、選考に関わってくるセミナーが行われないので助かった)

- デメリット: 会社説明会を行う時期がせまくなる
 ・会社説明会の日程が重なる
 ・開催数が減り予約の競争率が上がる
 ・一番忙しいテスト期間に説明会が多く開催される

3. 就職情報サイトのみで就職活動を行おうとしている人が非常に多い

ある日友人に相談されたこと

「パソコンでサイトを見ている以外に就活って何をすればいいかわからない。家にいる時何をしている？」

◆就職活動をするにあたり、どこからどのくらい情報を利用したか
 (単一回答形式) 着座・大学生 n=375

	情報に利 用した	よく利 用した	少し利用 した	全く利用し なかった	利用率
ハローワーク民間の麓轍情翰誌	1.6	4.0	13.9	80.5	19.5
民間の就職情報誌	1.3	7.7	25.9	65.1	34.9
インターネットの就糊情翰サイト	40.5	26.4	17.1	16.0	84.0
会社のホムペの求人情報	13.6	27.5	32.8	26.1	73.9
学校の弑職課一掲示板	15.7	20.5	42.9	20.8	79.2
学校の先生からの情報	6.4	13.6	32.0	48.0	52.0
家族・知人からの情報	5.1	13.6	42.1	39.2	60.8

◎ インターネットの就職情報サイト

- ① リクナビ (リクナビのみエントリーやリクナビ ID で企業採用 ID を取得せずにサイトに入ることができるなど多くの利点がある)
- ② マイナビ
- ③ 日経就職ナビ
- ④ 学情ナビ (中小企業中心・大阪本社 関西企業に力を入れる)
- ⑤ 就職ウォーカー
- ⑥ en ジャパン (中小 有力企業中心)
- ⑦ ダイヤモンド就活ナビ (Uターン就職・ビジネス情報)
- ⑧ ブンナビ, (四季報データ)
- ⑨ みんなの就職活動日記 (口コミ) ほか

4. ソーシャル・リクリーティング

新卒就職者の3年以内の離職率は35%を超える高水準。

このミスマッチを未然に防ごうと、個人のアイデンティティの把握ができるソーシャルメディアを採用活動に取り入れる企業が増加。

5. 実際にどのように就職活動に活用すればいいのか？

① コネクションサーチ

Facebook とリクナビの協力で誕生

希望する勤務地・業界を登録

② facebook 新卒採用ページを「いいね」 ツイッターをフォロー

ソー活どっとこむ2013のfacebook 採用企業一覧に搭載されている企業
922社

活用例

- ・「いいね」した人限定コンテンツの公開
- ・facebook 利用者限定説明会の開催
- ・採用担当者とのメッセージ交換
- ・自分の活動をアピール

③ 就職活動の改善案

具体的に何月就活解禁にしかほうがいいという案は出せません

■ 私か社会人になったら行おうと思っていること！

- 地方から首都圏または地方主要都市の学校へ通っている人
- 地方から首都圏または地方主要都市の企業へ就職を希望している人

◇ 離れている場所での就職活動は難しく、情報が入りにくい

※ 社会人になったら鹿児島に就職したい人・鹿児島から首都圏に就職したい人を支援するサイトを作って、イベント等も行いたいと思っています。